

下市町教育委員会だより

教育委員会から町民の皆様への情報通信



令和2年12月1日 第5号
奈良県下市町教育委員会
教育長 小谷 隆男 発行

「教育先進の町・下市」

～ 昔・今・未来の下市教育 ～

町 内の方から「教育の町・下市」という言葉を聞くことがよくあります。たいていの場合、そこには「昔は良かったね。」というニュアンスが含まれています。昭和52年の「下市町基本構想計画」という本を書棚から引っ張り出して見てみると、当時は、小学校が6校（下市、阿知賀、善城、秋野、広橋、丹生）、児童数は1,000人を超えていました。6つの学校で切磋琢磨しながら、教育の質は高められていたようです。学校だけでなく、地域や家庭の教育力も高いので「教育の町」と呼ばれていたのかもしれませんが。そんな環境の中から、多方面に優れた人材を輩出することができたのだと思います。



現 在、小学校は1つとなり、児童数は150人を下回っています。確かに人数が少なければ、活気は見えにくくなりますが、子どもたちの様子は当時と変わらず、活発に教育活動が行われています。決して、学校教育の質も、地域や家庭教育の質も、劣っているわけではありません。逆に、人数が少ないほど、きめ細かい指導ができるという利点があります。最も効果が期待できる人数です。

「教育の町・下市」は過去の言葉ではありません。人数が少ない今こそ、先進の教育を取り入れ、「**誰一人取り残すことのない学び**」を実現できると考えています。少人数、だけど元気な教職員チームが一丸となって「教育先進の町・下市」を目指していきます。

「教育先進の町・下市」実現への3本の柱

- ① 学校ICT活用宣言!
- ② 教科担任制へ!小・中のスクラム
- ③ 新しい学校のかたち「義務教育学校」

① 学校ICT活用宣言!

ICTで、授業が変わる! 学びが変わる!

「誰一人取り残すことのない学び」を実現するために

教室に一人1台のパソコンが配備されました。教員からの一方通行になりがちだった**一斉学習**を、個々の子どもの反応を確認しながら進める**双方向の授業**へ変えていきます。**個別学習**では、**AI機能で個別の子ども**の学習進度に合わせたドリル学習が可能になります。**グループ学習**では、積極的に発言する子だけでなく、少し控えて「お客さん」になりがちだった子の**意見も皆で共有**できます。子どものための授業へと変革します。



② 教科担任制へ!小・中のスクラム

文科省は「小学校高学年に教科担任制を導入(令和4年度)」の方針

下市小6年の教科担任制の実施状況

今年度の
下市小6年

6つの教科で実施
音楽、家庭、書写 (小学校教員による)
図工、英語、体育 (中学校教員による)

来年度は...

令和3年度
下市小6年

8つの教科で実施 ※予定
理科、社会、音楽、家庭、書写、図工、
英語、体育 (中学校へ週2日登校)

教科によって授業を担当する教員が変わることを**教科担任制**と言います。兵庫県の調査では、教科担任制の導入で小学生の**81.8%**が「教える先生が変わって、授業を楽しいと思うことが多くなった」、**77.4%**が「担任の先生以外の先生に気軽に話ができるようになった」と答えています。次年度から、下市町は積極的に研究を進めます。

③

新しい学校のかたち「義務教育学校」

※法改正によりH28に誕生

<義務教育学校のメリットBEST3>

学習面: 教科担任制が容易。学習遅れに対応しやすい。

生活面: 教員数は2倍になり、多くの個性に対応できる。

一貫性: 9年一貫した独自の教科やカリキュラムを設定。

「学習のつまずき」や「いじめ事象」は、その子に9年間寄り添う教職員チームにより早期対応がしやすくなります。

同一校 (1~9年生) 同一方針 (一人の校長) 同一教職員チーム

6年生での教科担任制の実施予定

令和3年度
下市小6年

2年後には…

令和5年度
義務教育学校
6年

8つの教科で実施 ※予定
理科、社会、音楽、家庭、書写、図工、
英語、体育 (中学校へ週2日登校)

全教科で実施 ※予定
(道徳、学活、総合は除く)

保護者説明会を開催します

「今後の下市町教育について」など
下の内容で説明会を開催します。

日時：12月19日(土)午後7時

対象：現小学生と新入学の保護者

場所：下市観光文化センター

主な内容

- ・ 今後の下市町教育について
(R5義務教育学校へ向けて)
 - ・ 南小学校校舎での生活について
 - ・ 通学バスについて
 - ・ その他、質疑応答
- ※ 案内は学校園を通じて別途しています。
出欠・ご意見の送付をお願いします。

「パブリックコメント」を公募します

公募案件 第2期「下市町教育大綱」(R3~R7)

公募期間 令和2年12月1日~12月28日

応募方法 期間中、下市町教育委員会
HPで「教育大綱」中間案を掲載。コメン
トやご意見があれば電子メール、FAX、郵
送で教育委員会宛に送付して下さい。



(HPはこちら)

応募は下市町在住等の方に限ります。結果については公表し、総合教育会議での協議に反映します。教育大綱は5年間の町教育方針となります。詳細はHPへ。

・ **教育大綱** … 教育、学術及び文化の振興に関する施策の方向を首長が示すもの。

・ **総合教育会議** … 首長と教育委員会で構成。大綱の協議、重点施策の協議、緊急措置等の協議が主な目的。

「あの校舎は今」④ 旧才谷小学校

山道を登り詰めた丘の上に、才谷小学校はあります。見晴らしが良く、とても可愛らしい小さな木造校舎です。窓から校舎内をのぞき込むと「SEIKO社製」と書かれた大きな丸い時計が見えました。かなりの古時計で、じっと見ているとタイムスリップをしたような感覚になります。外壁の文字は欠け、既に判読不可能(「やすまずけんこう」かも)。校庭の隅には、大きな桜の木があり、きっと今でも地元の人に愛されているのだと思います。昭和28年落成の校舎は、昭和45年9月に下市小との統合で引退。そこから既に50年の月日が流れました。その記憶も大切に新しい学校に引き継いでいきます。



朝、玄関前の美しい紅葉に、「白露の色は一つを いかにして秋の木の葉を 千々に染むらん」の句が浮かびました。「朝露は透明なのに、どうやって秋の木の葉をいろんな色に染めるのだろう」。千年も前の名句です。もし露で色が染まるとしたら洗濯物が大変ですね。でも、秋色の服も意外と楽しいかな。寒くなりますが、ご自愛下さい。

ご意見・お問い合わせは…

下市町教育委員会事務局

☎ 0747-52-1711

FAX 0747-52-5159

✉ kyoi@town.shimoichi.nara.jp